

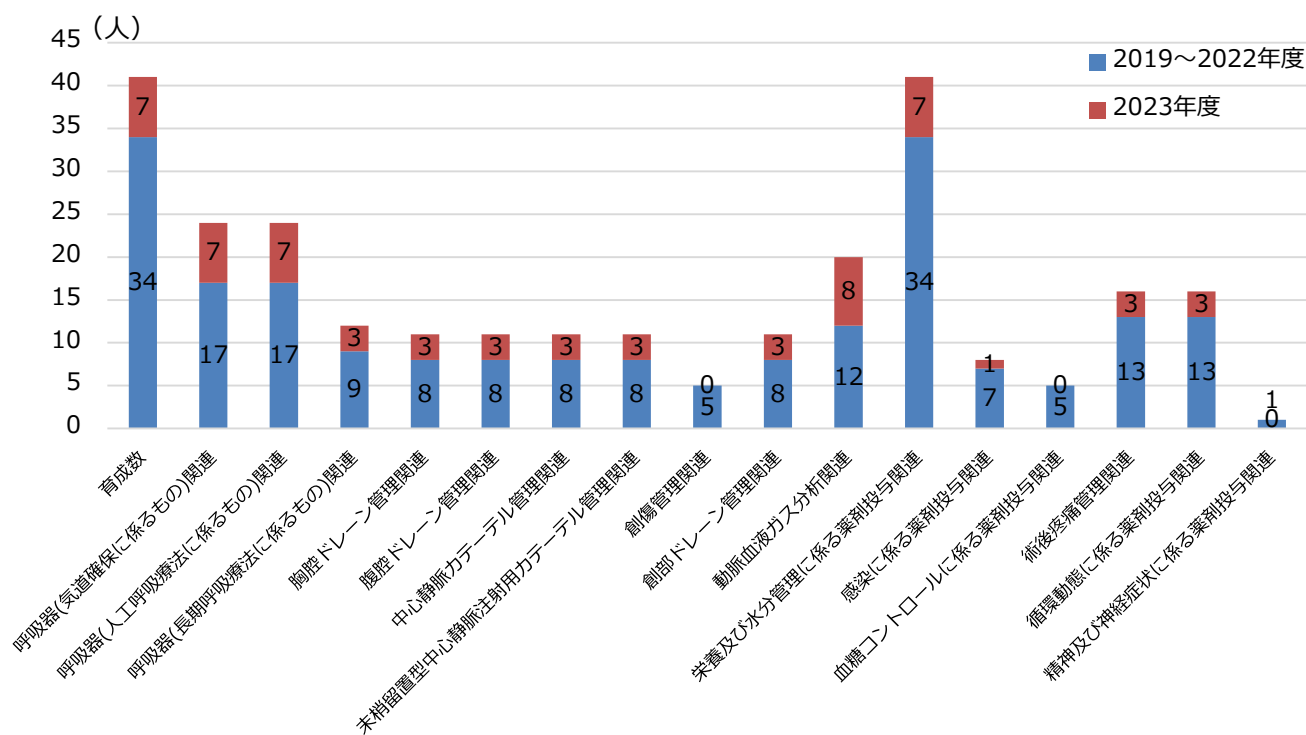
特定行為研修修了看護師数の推移（FNPを除く）

区分別モデル名	育成人数
救急・集中ケアモデル	8名
感染症管理モデル	7名
慢性疾患管理モデル	6名
創傷管理モデル	5名
外科術後病棟管理モデル	11名
術中麻酔管理モデル	5名
透析管理モデル	0名

合計 43名

年度別内訳	育成人数
2019年度	5名
2020年度	10名
2021年度	6名
2022年度	13名
2023年度	8名

5年間で52名育成、異動や退職のため増減有



今後ますます加速する少子超高齢社会においては安心で、安全かつ効果的な医療・看護を効率的に提供することが求められる。病気を抱えながら生活する人々が増える中、「治療」と「生活」の両面から患者を捉え、身体と心の状態の変化を予測しながら必要なケアを提供する特定看護師への期待に応える体制を整備する必要がある。

2014年6月に「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設され、看護部でも特定看護師の育成を開始した本院が看護師特定行為研修指定研修機関として2019年度に承認を受け、特定看護師の育成を開始した。これにより2019年度の特定行為区分別研修教育課程開講を皮切りに、2022年度までに33名を育成、2023年度は8名が修了し合計42名の特定行為が実践できる特定看護師を輩出した。現在、特定看護師として集中・救急領域の部署での活動する者や、本院に入院する糖尿病患者や感染症患者に対し横断的に特定行為を実践し、活動の場を広げている。